



坂野苑長の 悠々通信



新年あけましておめでとうございます。今年度もあと3か月となりました。そこで年度初めに設定した施設長としての目標の進捗状況について今回も報告していきたく思います。

① 駒場苑グループの黒字化

特養駒場苑は稼働率、デイサロンこまば、ケアプランセンターこまばは、それぞれ利用者数で目標の人数に届かず、厳しい状況が続いていますが、下半期は徐々に利用者数が増えて来ており、改善の兆しが見えてきました。グループホームこまばは稼働率、ヘルパーステーションこまばは利用者数で目標の人数に到達し、今後はこれを維持できるようにしていけば黒字になると思われます。物価高騰や最低賃金の向上に合わせて介護報酬が上がらず、厳しい状況下で運営をしておりますが、今年度は大きい改修工事等を行わない事で、出費をできるだけ抑える事でカバーしつつ、各事業所で稼働率の向上、利用者数の増加に向けて取り組んでいきたいと思っています。

② 採用活動の促進

採用活動については、SNSでの投稿や外部の研修、イベントの講師等で外に出る機会を増やしていく事で、そこで駒場苑の事を知った人から応募に繋がるケースも増えて来ています。また最近はそのサービスの利用の方にも繋がる事も出て来ており、発信の重要性を改めて感じます。その他、カイトクという単発アルバイトを欠員の際の補充として活用し、現場の負担を少しでも減らしながらも、良い人材であれば採用に繋げる等、新しい取り組みも開始しました。

③ 職場環境の改善

今年度は施設長や事務所とのコミュニケーションの機会を増やして風通しの良い環境作りを進めたいと役職呼びをやめて、名前呼びに変更しました。また事務所にカフェコーナー作り、今は職員さんが数名、仕事帰りに寄ってくれるようになり、うれしく思っています。今後もちょっとした雑談や意見交換ができる事を大事にしていきたいと考えています。その他、地域のイベントである駒場祭礼や法人のイベントである敷地内の夏祭りにも、ご利用者、ご家族と一緒に参加する事ができ、楽しい時間を過ごす事ができました。

メリークリスマス！

昨年のクリスマスは例年と少し違う趣向でお楽しみ頂きました！

みんなで飾ろうクリスマス

毎年クリスマスが近づくと玄関や1階フロアやエレベーター内などをクリスマスらしく飾り付けして、クリスマスの雰囲気を楽しんで頂いています。今年はお利用者の皆様も一緒に飾り付けに参加できるようにしました。

フェルトやリボンを使って手作りしたパネルをお風呂場に行く通り道に設置して、お風呂上りに立ち寄ってお好きなオーナメントを掛けてもらいます。アドベントカレンダーは、日付のプレートを見つけて裏返すと可愛いイラストが現れます。クリスマスイブにはこんな風に完成しました！



みんなで歌おうクリスマス

クリスマスイブの日に「歌の会」を開催しました。コロナ禍になってから、ご家族とご利用者が一緒に楽しめる行事がすべてストップしていましたが、久しぶりにご家族様にもご参加頂き、楽しいひと時を過ごすことができました。讃美歌や楽しいクリスマスソング、季節の



曲、元気の出る歌など、大きな声でたくさん歌いました！

最後にパイプオルガン風の音で讃美歌を演奏すると、「教会に来てみたいね」と喜んで頂きました。

クリスマス気分を満喫できた一日でした。







### 本田主任の グッドケア便り

明けましておめでとうございます。  
今年もどうぞよろしくお願い致します。



#### 『私物とは、私（自分）を確認できる物』

今年度から生活相談員として、ご入所を検討されている方の施設見学の対応をすることも増えてきました。見学の際には駒場苑の取り組みや日常生活、利用料金等をご説明しています。

特にお引越（ご入所）後のイメージが付きやすい説明を心掛けようと思うようになりました。そこでいつもお伝えしているのは「お部屋に私物を持ち込み個性的な空間づくりをしていきましょう」というお話です。

駒場苑の居室は、備え付けのベッド・床頭台・タンス・サイドテーブルしか置いていない、どこか無機質な空間です。無機質な空間はとても居心地が悪いものです。

例えば認知症のある人が夜中にふと目を覚まし、無機質な空間にいて「ここは何処だろう」と不安になり、混乱してしまうことがあります。その結果、周囲の人には理解し難い言動や行動へと繋がることがあります。帰宅願望と言われる「家に帰りたい」という気持ちは



「気持ちの落ち着く場所（家）に帰りたい」と考えられることは少なくありません。居心地の良い場所を構成する要素は個性的な空間だけではありませんが、まずは、ふと目を覚ました時でも不安や寂しさを感じないよう、駒場苑ではお部屋に私物を置き個性的な空間をつくるようにしています。

以前女性のご利用者がデイルームで過ごしている時、「ここが何処だか分からない…」「知らない人達ばかり…」と不安そうな表情で落ち着かないことがありました。その方のお部屋に移動すると、お部屋に飾ってあるご主人の写真を指して、「うちのお父さんがいるからココが私の部屋だわ！」「この人ね、こう見えて優しいところがあってね！」とニコニコしながらおっしゃいました。

思い出の詰まった私物は、たとえ自分の知らない場所にいても、私（自分）を確認することが出来る物となります。私物は一番身近にある介護用品なのです。



《駒場苑で生活されている方の私物をご紹介》

- ・思い出の写真
- ・好きな歌手のポスター（矢沢永吉、氷川きよし）
- ・携帯電話・冷蔵庫
- ・タンス・椅子・テレビ
- ・クッション・食器類
- ・色紙・表彰状・手紙
- ・本・愛用していたジャケット・手編みのマフラー・テニスシューズ
- ・ラジオ・CD・仏具 等



### 駒場苑 介護百人一首

駒場苑オリジナル介護百人一首が初めて出来たのは今から10年以上前です。元々は駒場苑の職員に介護の考え方を伝えるために作られました。その後リニューアルを重ねながら進化し続けています。現在では様々な展開で全国に向けて広がっています。

#### 介護百人一首カレンダー

介護百人一首カレンダーを作成し始めて7年目になります。昨年に引き続き全国の新聞で紹介されたこともあり、各地からご注文を頂いています。ご寄附の返礼品として、毎年数百冊を全国に発送しています。駒場苑が目指している介護の考え方が、全国の介護施設や介護職員、また介護をされているご家庭の皆様にも伝わっていくことを大変嬉しく思います。



#### 介護百人一首ワークショップ

昨年「介護百人一首ワークショップ」を駒場苑の2階で開催しています。

12月には大阪でも開催し、大変好評でした。百人一首かるた大会で白熱した戦いを楽しんだり、自らの介護経験から、オリジナルの短歌を作ったり。



かるたを元に介護への想いを語り合ったり。楽しくて充実したワークショップです！

#### 介護百首 書籍化

駒場苑オリジナル介護百人一首の本が出版されました。ご購入希望の方はQRコードからご購入をお願いします。



定価 1,760円



#### 介護百人一首で遊ぼう

駒場苑では親睦会などで介護百人一首を使ったゲームをやっています。苑長が上の句を読んで、職員が下の句を当てるクイズや、下の句のカルタを2枚ずつ配って、手持ちの短歌が早く2枚とも読まれた人から上がりの介護百人一首ビンゴ大会など。



なかなか答えにたどり着かなくて珍解答続出！ 楽しく遊びながら学べるアイテムです！

